

# 逗子市神武寺から発見された 神奈川県初記録のクロチビミノガ *Taleporia nigropterella* Saigusa (鱗翅目, ミノガ科)

新津修平\*

First record of *Taleporia nigropterella*  
Saigusa (Lepidoptera, Psychidae) in  
Kanagawa Prefecture discovered from  
Jinmuji, Zushi City

NIITSU Shuhei\*

キーワード：神奈川県，三浦半島，神武寺，クロチ  
ビミノガ，ミノガ科

Keywords: Kanagawa Prefecture, Miura Peninsula,  
Jinmuji, bagworm moth, *Taleporia*  
*nigropterella*, psychid moth

クロチビミノガ *Taleporia nigropterella* Saigusa, 1961 は、日本産 *Taleporia* 属の中でも最も小さいミノガの一種で、雌成虫は無翅型である。

著者は2019年2月下旬に、三浦半島の逗子市神武寺の林内で、同地に多いジャゴケに付く昆虫類の調査をしていた際に、見慣れないミノガ科の糞を複数発見した。その後、同年5月1日に、同じ場所で再びこの糞の調査を行ったところ、本種と思われる老熟糞を数個体採集することができた(第1図A)。

自宅にて個別にサンプル瓶に移し替え、糞を毎日観察していたところ、採集から約19日後に雄の成虫が1個体羽化した。この個体を小蛾類専用の展翅板で乾燥標本とし、マウントして写真撮影した(第1図B)。翅の大きさと形状から広渡(2013)掲載の本種と判断された。念のため、雄外部生殖器の解剖・観察を行ったところ、バルバが基部から先端に向けてゆるやかに細くなる特徴を持つことが判明し、Saigusa (1961) と広渡 (2013) の本種に関する記述と解剖・観察の特徴が一致した。

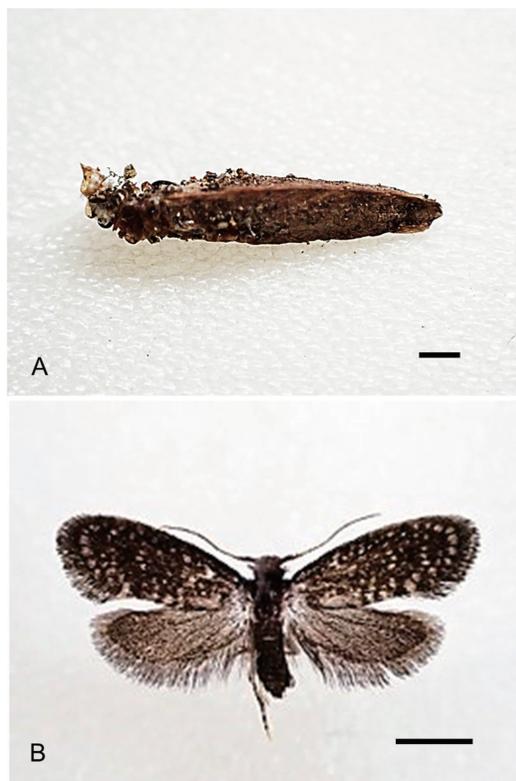
1♂, 逗子市神武寺, 1.V.2019 (採集 [糞]), 19.V.2019 (羽化), 新津修平採集・飼育。

本報での採集地の環境は、薄暗く湿潤な照葉樹林の林床であり、本種の糞は山道脇の大きな岩壁に付着していた(第2図)。

クロチビミノガのタイプ産地は福岡県福岡市で、これまでの文献記録では本州中部地方以西、九州、沖縄諸島とある(杉本, 2009; 広渡, 2013)。

本種を含む *Taleporia* 属は、三浦半島のみならず神奈川県からの初記録となる。なお、関東地方からは、工藤(2014)による埼玉県からの記録があるのみである。

今回確認した成虫はオス成虫1個体のみであり、メス成虫は発見されていない。三浦半島を含む神奈川県のみならず、関東甲信越を中心とした東日本において生息している可能性が高いことから、本種の



第1図 A：羽化殻。スケールバーは1 mm。 B：飼育羽化させたオス。スケールバーは2 mm。

\* 〒183-0011 東京都府中市白糸台4-13-1-206  
原稿受付 2019年10月30日。横須賀市博物館業績 第748号。

分布状況については今後も野外調査を行っていく必要があると思われる。



第2図 採集地の環境(逗子市神武寺)。湿った岩壁に多数の囊が付着していた。

## 引用文献

- 広渡俊哉(編) 2013. 日本産蛾類標準図鑑III. 137ページ. 学研教育出版, 東京.
- 工藤広悦 2014. 東大秩父演習林内のミノガ類—埼玉県の Psychidae と羽化の不思議—. 寄せ蛾記, (153): 33-39.
- 杉本美華 2009. 日本産ミノガ科のミノの形態 (1). 昆虫(ニューシリーズ), 12 (1): 1-15.
- Saigusa, T. 1961. Systematic studies of *Diplodoma* and its allied genera in Japan. Sieboldia, II (4): 261-315.